

編輯後記

◇春風や開志いだきて丘に立つ（虚子）と、過ぐる一年間に於ける學會の行事を纏めてこゝにお報らせするとともに、之を契機として更に來年度の活躍に資するよすがとし、更に卒業學生諸兄へのはなむけとし度いと思ひ、學會に相應しい會報を考へてをりましたが、編輯子の至らなきにたゞ會員諸氏の不満をのみ招くであらう事を思ふと慚愧に堪へません。本號は印刷所が變つた爲めと豫算の都合によりましてさゝやかな會報となりましたが、活字數の上から行けば第一號と略同じ事を存じます。然し乍ら量が多寡が會報の價値を規定するものでないことは賢明なる諸氏の御推察に任せます。

◇學年末を控へて益々公私多忙を極むる石山先生には、去る春季講演會で話された「古典教育の價値と方法」を加筆増訂なされ、更に又新たに筆を起されて本會報の爲めに寄稿下さつたといふ事は感謝の至りに存じます。尙ほその他大島博士を始めおしまして先輩諸氏より有益なる玉稿を得たことは學會の光榮と存じます。初花のたより聞えつ地久節（古松）の午後（259536）

漢文學會々報 第三號

昭和十年三月十日 印刷
昭和十年三月十五日 發行

【非賣品】

編輯者 東京文理科大學 漢文學會
三井 宇一郎

印刷所 東京市澁谷區上通り二ノ一〇
稲垣印刷所
電話青山七二五一番

印刷人 東京市澁谷區上通り二ノ一〇
稲垣 徳治

發行所 東京市小石川區大塚窪町
東京文理科大學漢文學會

東京文理科大學漢文學會會則

- 一、本會ハ東京文理科大學漢文學會ト稱シ、事務所ヲ東京文理科大學漢文學研究室内ニ置ク
- 二、本會ハ漢文學ノ研究及ビ普及ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- 三、本會ノ會員ハ左ノ人々ヲ以テ組織ス
 - 1 東京文理科大學及ビ東京高等師範學校漢文學科關係ノ教官ニ講師
 - 2 東京文理科大學漢文學科生及ビ卒業生
 - 3 東京高等師範學校文科第二部(國漢)生徒及ビ卒業生中漢文研究ニ篤志ナル者
 - 4 其ノ他ノ漢文學研究ニ篤志ナル者
- 四、本會ノ主ナル事業左ノ如シ
 - 1 研究發表會
 - 2 講演會
 - 3 研究旅行
 - 4 雜誌
 - 5 其ノ他必要ナル事項
- 五、本會ニ左ノ役員ヲ置ク
 - 1 會長一名
 - 2 顧問若干名
 - 3 評議員若干名
 - 4 委員十名

六、會長ハ本會ヲ代表シ、會務ヲ總理ス

顧問ハ會長ノ諮詢ニ應ズ

評議員ハ評議員會ヲ組織ス

評議員會ハ會長之ヲ召集シ、重要ナル會務ヲ議ス

會長ノ委嘱ニヨリ評議員中一名ヲ會計監督トス

委員ハ會長ノ指示ヲ受ケ、會ノ研究、會計、編輯ノ事務ヲ分擔ス

七、會長ニハ東京文理科大學漢文學科主任教授ヲ推ス

評議員ハ東京文理科大學並ニ東京高等師範學校漢文學科關係ノ教官講師及ビ其ノ他ニツキテ會長之ヲ委嘱ス

顧問ハ評議員會ニテ之ヲ推薦ス

委員ハ東京文理科大學漢文學科學生中ヨリ六名、其ノ他ヨリ四名、會員ノ互選ニヨリテ選出シ其任期ヲ一ケ年トス、但シ重任ヲ妨ゲズ

八、本會會則ノ變更ハ評議員會ノ議決ヲ經ベキモノトス

九、會員ハ會費年額金壹圓ヲ納ムベキモノトス

附 内 規

一、東京文理科大學漢文學科卒業生並ニ學生ハ會費ノ外別ニ年額

金壹圓ヲ納ム可キコト

二、東京高等師範學校生徒ハ會報雜誌實費トシテ金五拾錢ヲ納入スルコト

三、委員ノ改選ハ二月中ニ行フコト

以上

謹
悼

本會評議員

石田羊一郎先生之御逝去

東京文理科大學漢文學會